

令和元年度 活動提案事業報告資料

令和2年7月10日

いかるが子どもの遊び場づくりの会

イベント報告書

2019年5月31日(金)

団体名	いかるが子どもの遊び場作りの会	報告者	平川理恵、萩原有紀
-----	-----------------	-----	-----------

(1) イベント概要

件名	5月の斑鳩プレーパーク
目的	子どもたちが自発的に考えて遊ぶことのできる場所を提供し、子どもたちの生きる力を育む。
実施日時	2019年5月19日(日) 13:00~16:00
対象	小学生※未就学児同伴の場合、保護者による見守りが必要。
スタッフ	片山、木谷、田邊、萩原、林田、平川、堀(あいうえお順、敬称略)
場所	東洋シールキャンプ場

(2) 報告事項

報告や感想など
<p>スタッフの一部は11時に集合して遊び場の整備、設営スタート。 テントを張り、アートブースを作り、野外クッキング用の火を準備。 今回は黎明学童の運動会や近隣のイベントなどと日程が重なったものの、多くの子どもたちが参加してくれました。参加者名簿に記載があるだけでも70名以上が参加。</p> <p>【遊び】</p> <ul style="list-style-type: none">・ボールやフリスビーなど道具を使った遊び (前回人気だったバドミントンを4つ準備したが、今回は風が強くて遊べず)・敷地内の竹を切り出して、はしごや弓矢づくり。・お花摘み、お花の飾りづくり・木を使って木のぼりやターザンロープ、ブランコ遊び・手形アート・野球 <p>【飲食】</p> <ul style="list-style-type: none">・焼きそば・焼きソーセージ・焼き餅 <p>【保護者の様子】</p> <ul style="list-style-type: none">・小学校で離れ離れになった保育園・幼稚園の保護者たちが再会を喜んだり、新たな出会いが生まれたりしていた。・ものづくり系の遊びも運動系の遊びも、参加者の保護者さん(特にお父さんたち)が進んでサポートしてくれた。 <p>【参加者の声】</p> <p>「もうちょっと回数を増やしてほしい。」(斑鳩町、保護者) 「ずっと斑鳩に住んでるけど、こんな自然豊かな広場があるなんて知らなかった。」(斑鳩町、保護者) 「奥の広場は目が行き届かなくて危ないように感じた。」(斑鳩町、保護者) 「保育園のときのお友達と久しぶりに遊べて楽しかった。」(斑鳩町、小学生) 「お餅が美味しかった。お醤油があつたらもっと美味しかったはず。」(斑鳩町、小学生)</p> <p>などなど</p>
備考
<ul style="list-style-type: none">・車での来場について 妊婦や乳幼児連れの際、車での来場を希望される。橋本建設さんの駐車場を使わせてもらえないか打診。・安全対策について 目が行き届きにくい奥の広場(木のぼりエリア)に常時スタッフを配置する。・危険予測について 今年の夏開催までに、危険なシーン(マムシに噛まれた時や、ケガをした時など)に対応する力をスタッフが身につけられるよう研修などを実施する。

【5月の遊び場の様子】



プレーパーク入口から見た様子。
この日は風がやや強く、比較的過ごしやすい陽気でした。



スタッフのサポートのもと、竹を調達。
何を作るのか楽しみです！



調達した竹で作った弓で木の矢を飛ばします。
コツをつかむと、すごくよく飛ぶ！
今回のプレーパークでは弓矢遊びが大人気でした。



竹でハシゴも作れちゃいます。
木や塀にハシゴをかけてのぼると、いつもより見晴らしがいい！



遊び場にいっぱい咲いてるシロツメグサを摘んで冠と指輪を作る親子。
作るのは子どものとき以来だというお母さん。手が覚えてます。



sd



工作やアートが得意なスタッフ発案「手形アート」
事前にチラシなどで「絵の具を使って遊ぶので汚れてもいい服で来てね」と伝えてありました。

絵の具を両手にたっぷりつけてペタペタ。
手や服、顔にも絵の具がペタペタ。
毎回アートや工作ブースは女の子たちに大人気！



もぐもぐタイム
焼きそばのほか、ソーセージやお餅も焼きました。
焼きそば 30 玉があっという間に子どもたちのお腹の中へ。



竹やぶにニョキニョキ生えているたけのこを採って、急ぎよ始まったたけのこ運び競争。
彼女たちは、あわ保育園出身の女子チーム。小学校は離れ離れになったけど、またここで一緒に遊べるね。



自分たちで作った竹のハシゴをかけて木のぼりをしたり。スタッフが設置したターザンロープやブランコで遊んだりしました。
木のぼりが不安な子どもたちを保護者の方が見守り、手助けしてくれていました。

以上、いかるが子どもの遊び場づくりの会による 5 月の斑鳩プレーパークの開催報告でした。
今回は、住民活動センターの城野さまや、生涯学習課の大塚さまにもご参加いただきました。
ありがとうございました。引き続きよろしくお願いたします！

イベント報告書

2019年7月7日(日)

団体名	いかるが子どもの遊び場づくりの会	報告者	平川理恵、萩原有紀
-----	------------------	-----	-----------

(1) イベント概要

件名	7月の斑鳩プレーパーク研修会
目的	ネイチャーゲームを楽しみ、水辺の安全について学ぶ。
実施日時	2019年7月7日(日) 13:00~16:00
参加者	大人12名、子ども12名、計24名
スタッフ	萩原、林田、平川、堀(あいうえお順、敬称略)
場所	斑鳩町消防コミュニティセンター、堂山公園~竜田公園

(2) 報告事項

報告や感想など
13:00 受付スタート
13:30 堀より開会の挨拶とオリエンテーション
13:45 堂山公園~竜田公園を散策 ・奈良県シェアリングネイチャー協会の西由紀美氏によるネイチャーゲーム ・竜田公園を愛する会の樋口建市氏よりプチセミナー ・いかるの会の勝田均氏より「いかる」についてのレクチャー ・遊び場づくりの会の堀氏より水辺の安全についてのレクチャー
15:45 消防コミュニティセンターに戻り、振り返りをし、みんなで歌を歌う。
16:00 解散

【研修会の様子】



消防コミュニティセンターでオリエンテーション。



堂山公園にて、竜田公園を愛する会さんからお話。



堂山公園でネイチャーゲームを楽しみました。



遊び場づくりの会の堀さんから水辺の安全について学びました。空のペットボトルとロープを使った水難救助法を実演中。



いかるの会さんから「いかる」のことを教わりました。

以上、いかるが子どもの遊び場づくりの会による7月の研修会開催報告でした。
今後も、プレーパーク開催に加え、このような学びの場を提供していきたいと思いを。
引き続きよろしくお願いいたします！

イベント報告書

2019年8月18日(日)

団体名	いかるが子どもの遊び場作りの会	報告者	平川理恵、萩原有紀
-----	-----------------	-----	-----------

(1) イベント概要

件名	8月の斑鳩プレーパーク
目的	子どもたちが自発的に考えて遊ぶことのできる場所を提供し、子どもたちの生きる力を育む。
実施日時	2019年8月18日(日) 15:00~19:00
対象	小学生※未就学児同伴の場合、保護者による見守りが必要。終了時間が遅いためお迎え必須。
スタッフ	片山、木谷、田邊、萩原、林田、平川、堀(あいうえお順、敬称略)
場所	東洋シールキャンプ場

(2) 報告事項

報告や感想など
<p>スタッフの一部は11時に集合して遊び場の整備、設営スタート。 うち、スタッフ2名は流しそうめんの水路と、水路を支える脚を製作。 15時の開門後、続々と子どもたちが集まり、過去最多の約100名が参加。</p> <p>【遊び】</p> <ul style="list-style-type: none">・バドミントンや野球、ボール遊び・プール・ウォーターバトル(水風船と水鉄砲)・虫取り、自然観察 <p>【飲食】</p> <ul style="list-style-type: none">・流しそうめん <p>【保護者の様子】</p> <ul style="list-style-type: none">・終了後に、ゴミ拾いなどを自発的に手伝ってくれる方がたくさんいた。 <p>【参加者の声】</p> <p>「夏休みはどこにも連れて行けなかったのが最後にいい思い出ができてよかったです。」(斑鳩町、保護者) 「流しそうめんの水路を捨てるなら譲って欲しい。」(斑鳩町、保護者) →持って帰っていただきました。ご自宅で流しそうめんをされたとのこと。使っていただいてよかったです。 「そうめんが美味しかった。みかんをもっとたくさん流して欲しい。」(斑鳩町、小学生) 「プールが気持ちよかった。」(斑鳩町、小学生) 保護者からも子どもからも「次はいつするの?」という問合せが多数。</p> <p>などなど</p>

備考

- ・駐車場問題について
暑いとあって、いつも以上に車で来る人が多かった(参加者数もいつもより多かった)。
キャンプ場内に車を止めきれなくなり、橋本建設さんの駐車場を使わせていただいた。
次回もお願いします。
- ・危険箇所について
奥のエリアに鉄の棒が突き出た危険な箇所があるというスタッフからの目撃情報あり。
→次回開催までに安全措置をする。
- ・危険予測について
危険なシーン(マムシに噛まれた時や、ケガをした時など)に対応する力をスタッフが身につける。
→研修を実施する。

【8月の遊び場の様子】



子どもたちみんなが楽しみにしていたプール！
プールは熱中症予防の目的もあります。
見た目も楽しめるよう水風船をたくさん浮かべてみました。



流しそうめんスタート！
そうめんはフードバンクからの寄付。
ちなみに、そうめんつゆの塩分も熱中症対策の一環です。



遊び場スタッフがキャンプ場内の竹を切り出し作ってくれた流し
そうめんの水路を、そうめんがすべっていきます。
ミカンやパイナップルなどのフルーツも人気！



手持ち花火を取りに来る子どもたち。
「1人何本までいいの？」ってみんな嬉しそう。



最後はみんなでちょっと派手めの花火。
終了後は、ゴミ掃除を手伝ってくれる保護者が多数。

以上、いかるが子どもの遊び場づくりの会による8月の斑鳩プレーパークの開催報告でした。

イベント報告書

2019年12月1日(日)

団体名	いかるが子どもの遊び場作りの会	報告者	平川理恵、萩原有紀
-----	-----------------	-----	-----------

(1) イベント概要

件名	12月の斑鳩プレーパーク
目的	子どもたちが自発的に考えて遊ぶことのできる場所を提供し、子どもたちの生きる力を育む。
実施日時	2019年12月1日(日) 13:00~16:00
対象	小学生※未就学児同伴の場合、保護者による見守りが必要。終了時間が遅いためお迎え必須。
スタッフ	片山、木谷、田邊、萩原、林田、平川、堀(あいうえお順、敬称略)
場所	東洋シールキャンプ場

(2) 報告事項

報告や感想など
<p>スタッフの一部は朝からキャンプ場内の草刈りや清掃活動 ほかのスタッフも11時に集合して遊び場の設営スタート 開門前の12時頃から子どもたちが集まりはじめ、100名以上が参加(過去最高)</p> <p>【遊び】</p> <ul style="list-style-type: none">・バドミントンや野球、ボール遊び・秘密基地づくり・各々で作った竹弓や竹馬での遊び・ブランコ、ハンモック(スタッフがキャンプ場内の木に設置) <p>【飲食】</p> <ul style="list-style-type: none">・バームクーヘン・焼き芋・ソーセージ・餅・ホットサンド <p>【参加者の様子】</p> <ul style="list-style-type: none">・リピーターさんが増えてきた・自然を利用した遊び(竹を使った工作など)はお父さんたちが率先して楽しんでいた・子どもも保護者も、小学校進学で離れ離れになった校区外の友達との再会の場になっていた。 <p>【参加者の声】</p> <p>「バームクーヘンを作るところを初めて見て面白かった」(斑鳩町、小学生) 「キャンプ場内の竹などの自然素材を自由に使って遊べるところが嬉しい」(斑鳩町、保護者) 「終わる時間が早い。もっとたくさん遊びたい」(斑鳩町、小学生)</p> <p>などなど</p>

備考

<ul style="list-style-type: none">・駐車場問題について 前回同様キャンプ場内に車を止めきれなくなり、橋本建設さんの駐車場を使わせていただいた(3台分)。次回もお願いします。・危険箇所について 奥のエリアに鉄の棒が突き出た危険な箇所については、スタッフが安全措置を講じた。・危険予測について(前回からの継続事項) 危険なシーン(マムシに噛まれた時や、ケガをした時など)に対応する力をスタッフが身につける。 →研修を実施する。
--

【12月の遊び場の様子】



12月とは思えないほどの暖かい日曜日。
女の子3人で家族ごっこ中。
草山でお昼寝タイム。



スタッフの片山さんと林田さんが設置したブランコとハンモック。
開場前にスタッフの子どもたちが試運転。
とっても気持ちがいいよー！



開場後、ブランコとハンモックの前には順番待ちの行列。
「10回こいたら交代ね。いーち、にい…」
子どもたちでルールを決めて仲良く遊びました。



以前、ボーイスカウトさんが作った秘密基地の枠組み。
そこに自然素材を組み合わせると秘密基地が完成！
中にはテーブルもあって、本当の家みたい。



竹林から竹を切り出し、組み立て、葉っぱをかぶせた秘密基地。
お父さんとお子さんで完成させました。



お父さんと一緒に作った竹の弓矢。
とてもよく飛んでいました。



竹林から竹を切り出し、引っ張り出します。
長い長い長い竹。子どもの背丈の何倍もある。
何を作ろうかな…」



たくさん遊んで小腹が空いたら、フードコート（笑）へ。
焼き芋、ソーセージ、餅、ホットサンドなどが焼きたて！
今回は初の試み「バームクーヘン」が人気でした。



野外料理が得意な竹内さんが高田市から手伝いに来てくれました。
この1つを焼くのに約1時間！ 合計2個焼きました。
バームクーヘンができる過程を初めて見た子どもたちも大興奮。



12月といえばクリスマス！
工作担当のスタッフ田邊さんによるクリスマスツリー工作ブース。
好きな色の毛糸を巻き巻き。

以上、いかるが子どもの遊び場づくりの会による12月の斑鳩プレーパークの開催報告でした。

■全体を通しての課題

- ① 駐車スペースの確保
- ② 多様な開催場所の確保（現在、東洋シール
キャンプ場の1か所のみで開催）
- ③ スタッフ不足
- ④ スタッフ教育（ケガなどに対する応急処置
の訓練など）

■担当課との連携内容

- ① 広報活動
- ② 開催場所の選定
- ③ 斑鳩の子どもたちの健全育成

斑鳩町 担当課からのコメント

本町では時代を担う子どもたちの健全な育成に向けた環境づくりをすすめており、自然のなかでの活動を体験できる機会を増やす必要があると考える中、本事業は子どもたちが自発的に遊ぶことができる場として機能していると考えます。

令和元年度は、4回のプレーパークを開催され多数の参加者があり、子どもたちの自然体験活動は着実に広がっていると感じることができます。

今後も事業のさらなる充実に向けて、当課と協働し事業を継続していただきたいと思います。

斑鳩町教育委員会事務局生涯学習課